

● 診療科の特色

1. 皮膚腫瘍の診断・治療 : ダーモスコピー、皮膚超音波検査などの非侵襲的検査や生検によって診断を行います。疾患によっては他施設と連携して遺伝子診断も行います。特に悪性腫瘍では、画像診断や早期のリンパ節転移を同定するセンチネルリンパ節生検などを用いて、病状や進行度を正確に把握したうえ過不足のない適切な治療をこころがけます。外科的治療が中心となりますが、病状に応じて放射線療法、化学療法も適用します。進行期の悪性黒色腫では分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療が行われます。
2. 皮膚外科手術・処置 : 外科的治療を要する皮膚疾患の治療に積極的に対応しています。良性および悪性の皮膚腫瘍、母斑、重症軟部組織感染症、膿皮症、などが適応となります。
3. 難治性皮膚疾患(自己免疫性水疱症、乾癬、掌蹠膿疱症、脱毛症、など)の診断・治療 : 視診に加え、皮膚病理組織検査、蛍光抗体検査、血清学的手法などで診断します。遺伝性皮膚疾患では他施設との連携のもとに遺伝子診断を行うこともあります。疾患によっては薬物療法のほか理学療法(紫外線療法:PUVA, narrow-band UVB, エキシマライト, など)も併用して治療します。重傷乾癬、関節症性乾癬、などでは生物学的製剤による治療が行われています。最近では難治性じんま疹、重症アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎にも生物学的製剤の適応が広がっています。
4. 皮膚病変を伴う全身性疾患の診断・治療 : 膠原病、血管炎、血液疾患、など皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療に当たります。しばしば皮疹が全身疾患診断の糸口になります。
5. 他科疾患の皮膚合併症への対応 : 皮膚感染症や薬疹など、他科領域の患者さんに生じた皮膚合併症や皮膚トラブルに対応し、検査、診断と治療を行います。
6. 皮膚科の救急的疾患への対応 : 急性炎症性皮膚疾患、感染症(細菌、ウイルス)、など
7. 新生児、小児皮膚疾患への対応 : 皮膚炎、感染症(ウイルス、細菌)などの一般的疾患の他、遺伝性疾患、膠原病、などの診断と治療に関わります。
8. 皮膚病理診断 : 皮膚病理診断に重点を置き、病理部と連携して正確な診断を心がけます。
9. アレルギー検査 : パッチテスト、プリックテスト、MED(最小紅斑量)測定、など

● 診療実績

1. 主要手術件数(手術室で施行したもの) 年間手術件数:251名

疾患	症例数
良性腫瘍、母斑	138
悪性腫瘍	82
細菌感染症	14
膿皮症	4
その他	13

2. 入院主要疾患 臨床統計 年間入院件数:178 件

疾患	症例数
悪性腫瘍	57
良性腫瘍、母斑	35
細菌感染症	25
水疱症、膿疱症	13
マムシ咬傷	13
ウイルス感染症	8
皮膚炎・紅斑症・蕁麻疹	7
熱傷・外傷	5
薬疹、アレルギー	3
皮膚潰瘍、褥瘡 等	2
その他	10

3. 特殊検査法・治療

検査・治療	件数
外来処置室での手術	83
皮膚生検	399
紫外線療法	465
ダーモスコピー	375
皮膚超音波検査	234
パッチテスト	18
プリックテスト	3
MED 測定	1

● 研究業績

論文発表

- 1) 瀧川充希子,眞部恵子,浅越健治
多中心性に病変を認めた男性外陰部乳房外 Paget 病 3 例
日皮会誌, 131 巻 8 号, 1835-1840, 2021 年 7 月 20 日
- 2) 眞部恵子,浅越健治
移植後の免疫抑制患者に生じた深在性皮膚カンジダ症
皮膚病診療, 43 巻 8 号, 722-725, 2021 年 8 月 1 日
- 3) 瀧川充希子,眞部恵子,浅越健治
臍部に生じ深在性上皮性嚢腫との連続性を認めた基底細胞癌の 1 例
西日本皮膚科, 84 巻 1 号, 41-45, 2022 年 2 月 1 日

学会

- 1) 瀧川 充希子
薬剤過敏症症候群 (DIHS) 治療後に発症した水縫製類天疱瘡の 1 例
第 283 回日本皮膚科学会岡山地方会 2021 年 5 月 15 日

- 2) 浅田 志乃舞
臨床所見・ダーモスコピー所見から基底細胞癌を疑った色素性エクリン汗孔腫の1例
第283回日本皮膚科学会岡山地方会 2021年5月15日
 - 3) 眞部 恵子
脳性麻痺患者に生じた外陰部乳房外パジェット病の治療経験
第36回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2021年5月29日
 - 4) 水田 康生
アダリムマブを使用した化膿性汗腺炎3例
第120回日本皮膚科学会総会 2021年6月10日
 - 5) 水田 康生
肉眼的無疹部にも病変を認めた多中心性無色素性の末端黒子型黒色腫
第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2021年7月9日
 - 6) 水田 康生
ダーモスコピーにて parallel furrow pattern を呈した足底上皮内悪性黒色腫
第284回日本皮膚科学会岡山地方会 2021年9月12日
 - 7) 水田 康生
右母指先端に発生した Fibro-osseous pseudotumor of the digits の1例
第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2021年10月30日
 - 8) 石井 芙美
ALK陽性 Spitz nevus の1例
第285回日本皮膚科学会岡山地方会 2022年1月15日
 - 9) 水田 康生
左母趾に生じた verrucous skin lesions on the feet in diabetic neuropathy(VSLDN)の1例
第285回日本皮膚科学会岡山地方会 2022年1月15日
- 座長
- 1) 第36回日本皮膚外科学会総会・学術大会 2021年5月29日
手術手技3・EMPD・Echo
浅越 健治